学校番号	416

令和３年度地理・歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新日本史Ａ新訂版」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

我が国の近代史の知識をしっかりと習得し、考える力を養う。視覚教材やグループワークなどを取り入れ、多面的・多角的な生徒の理解を促し、現代社会を主体的に生き抜くことのできる力を育む。開国から始まる日本の近・現代史を学び、学習し，地理・公民・特別活動との連携を図り，東アジアをはじめとする国際環境の変化を重視しつつ，広い視野に立って多面的・多角的に歴史的事象を考察する。今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

我が国の近代史の基礎的な知識を習得し、そこから考え判断することのできる力を身につける。日本史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ，日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせ，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本の構成員としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	国史の展開に対する関心と問題意識を高め意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任をはたそうそうとする。	国史の展開から課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し日本文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	国史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	国史の展開についての基本的な事柄を，世界史的視野に立って総合的に理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	近代	近代国家と社会の形成 二つの戦争と大日本帝国 帝国とデモクラシー デモクラシーの展開と帝国の変容	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a: 開国から幕府の滅亡にいたる過程、新政府の政策に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。欧米の文化・思想が日本の文化に与えた影響、日本を取り巻く国際環境の変化などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b: 江戸幕府が倒れていく過程や新政府がとった政策とその結果について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c: 浮世絵や風刺漫画などから明治維新、文明開化、自由民権運動などの様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b: 日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清、日露戦争と第 1 次世界大戦の経過やその結果について考察し、適切に表現している。 d: 日清・日露戦争のそれぞれの性格と特徴、植民地支配の特徴と植民地からの抵抗について、大正デモクラシーの特徴を理解し、その知識を身に付けている。	レポート ワークシート 定期考査

二学期	現代	アジアの戦争と第二次世界大戦 現代日本の源流 冷戦の中の経済成長	○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 第２次世界大戦へいたる経過とその結果、アジア近隣諸国との関係などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b: 日本国内の政治、経済の状況と世界の動向を関連付けながら、日本のおこなった戦争の性格について考察し、適切に表現している。 d: 戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどのような性格であったか、戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その知識を身に付けている。 b: 大日本帝国憲法体制と日本国憲法体制の根本的な違い、戦後日本がアメリカとの関連を強めていくことについて考察し、適切に表現している。 d: 戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したこと、戦後世界の動向と日本との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。	レポート ワークシート 定期考査
三学期	現代	現代の日本			○	○	c: 戦後から現代（オイルショックや中東の問題をなどを）年表や新聞、雑誌を活用して現代の日本と世界の関係について調べるための情報を適切に選択している。 d: 戦後の世界と日本の変化の過程を事実にもとづいて理解し、その知識を身に付けている。２１世紀の展望をもつ。	レポート ワークシート 定期考査

※　表中の観点について

a: 関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。